高田みかん

毎月、まちの話題やまち協の行事などをご紹介します。

2020年8月号

制作：企画広報部会

授業公開に行ってきました！

第五中学校　７月１日～３日

コミセンだより７月号に「五中　授業公開」との行事を発見！さっそく学校長の許可を得て取材へ行ってきました。
一斉休校が長らく続いて、６月の学校再開から約1か月。1学期にできなかった授業参観に替えてのこの行事。生徒たちの頑張る様子や、先生たちの奮闘ぶりを見てきました。

梅雨の晴間ながら1時限目に水泳の授業。若者は元気です！

再新プールで水泳の習得

意外なことに水泳の授業があっていました。
「コロナ禍の中、水泳はいかがなものか、との異見は確かにありましたが、“泳げない”ことが将来的に及ぼす危機と比べた場合、絶対に必要な授業だと判断しました。」と、本田校長。
たしかに、まだ罹患者が出ていない八代市で新型コロナ感染症を恐れるあまり、本来必要で、命を守るべき大切な授業が施されない方が問題が大きいと思われる。
「水からの感染はないと言われてます」とは、校長の追加の説明でした。
プールはFRP塗装の改修がなされたばかりで、鮮やかな“ブルー”に輝き、サイトには生徒の歓声が響いていました。

プロジェクター 完備！！

黒板の真上の装置がプロジェクター。極度の“台形補正”にて直下の黒板に投影している。

教室をのぞくと何やら黒板に映像が投影されていました。「全教室に完備されているんですよ」と本田校長。
数学や社会などばかりでなく書道の授業にも活用されていました。
「時代」は進んでいます。

体育祭など　今後の行事は？

中体連は中止に
同大会は中止となっていますが、競技によっては代替の大会が開かれる可能性が出てきています。
関係者の今後の判断や意思決定に注目です。

体育大会は？
例年９月中旬に開かれている同校の体育大会。
７月３１日に応援団の結団式があり、本番に向けての準備が始まる予定とのこと。
体育大会は、コロナ禍を考慮して午前の時間帯のみで運営される見込みです。

集団行動コンクール
２８日のコンクールに向けて練習が始まっていました。
演舞の際、生徒たちはマスクの着用。隊列で交差を繰り返す“密”のため必要な措置のようです。ただ、終了時には十分な距離間が確保されているため、マスクを外して、大きな発声で締める！とのことでした。

上図）非常時に使用のＬＰガス発電機とコンセント。
下図）各教室に設置のエアコン。

公開授業の訪問を終えて

五中の学校教育目標は　～　**10年後、20年後にも　生きてはたらく力をもつ生徒の育成**　～　とのことです。

現在の成績や成果に一喜一憂することよりも、大人になって継続した社会貢献ができる人物になってほしいとの願いが込められている目標だと思います。

今その達成を見ることはできませんが、本田校長をはじめ教職員のみなさんの生徒を思う熱意や姿勢がひしひしと感じられました。

線状降水帯の脅威　かつてない水量　球磨川

７月４日未明。携帯から緊急速報の警報音がいく度も鳴り響き、緊迫度が高まりました。そしてその日の朝から坂本町では球磨川が氾濫し、沿岸の方々が被災されました。

219号。立ち動かなくなった軽乗用車

午前１０時３０分　遥拝峡の激濁流

高岳

午前11時ごろ。萩原堤防地先の水位計は、８㍍まで計測できるが、5.7㍍のところまで水嵩は上がっていた。
当時、市保健センターには28人が避難中。

編　集　後　記

熊本県南部の７月水害の全容が明らかになるにつれ、その被害の甚大さに戦慄を覚えます。
芦北町、人吉市へ行き、かきや濡れた家財道具の運び出しを手伝いましたが、天井近くまで上がった出水には驚くばかりです。
高田校区には大きな被害はありませんでしたが、道路等であの溢水や渓流からの土砂流出がみられました。
今回の豪雨災害は、命を守る行動の大切さを強く再認識させるものでした。

夏越の大祓

６月３０日、遥拝神社で無病息災を祈って行われました。
令和２年の折り返しとなるこの日。多くの参拝者が“茅の輪”をくぐり、けがれを清めました。

今回から“アマビエ”が登場。木彫像が社殿に鎮座していました。コロナ禍の早期終息を叶えてください！